

氏名： 大塚 常樹 (OTSUKA Tsuneki)  
所属： 人間文化創成科学研究科文化科学系  
学位： 文学修士  
職名： 教授  
専門分野： 日本近現代詩歌、20世紀前半の文学、文学理論  
E-mail： otsuka.tsuneki@ocha.ac.jp

#### ◆研究キーワード / Keywords

近代詩／宮沢賢治／文学理論

#### ◆主要業績

- ・現代詩大事典（三省堂、08年2月20日）
  - 1 編集（企画・項目選択・執筆者選択と依頼・校正）
  - 2 項目執筆  
詩学用語（アイロニ・メタファー・詩の音楽性・詩の視覚性・比喩と象徴など）、詩人と雑誌（嵯峨信之・感情など）、コラム（富士山と現代詩・詩人の職業）
- ・論文（単著）  
「展望 谷川俊太郎」（『展望 現代の詩歌』第4巻 明治書院 2007年8月 1頁－24頁）
- ・指導書  
「梶井基次郎「Kの昇天」」（『国語現代文 指導書』第一学習社 2008年3月）

#### ◆研究内容 / Research Pursuits

- 1 日本近代詩、現代詩  
特に萩原朔太郎、草野心平、金子光晴、谷川俊太郎など
- 2 宮沢賢治  
科学、仏教、植物、音楽、絵画などとの関連
- 3 文学理論  
修辞学と物語論、読者戦略論
- 4 昭和文学  
梶井基次郎、太宰治などの構造分析

## ◆教育内容 / Educational Pursuits

- 1 日本近代文学史
- 2 日本現代文学演習
- 3 広く日本近代文学
- 4 文学理論、特に物語論と修辞論、読者戦略論
- 5 日本近代詩歌史
- 6 卒業論文指導

## ◆研究計画

文学を理論で読むことを目指しています。主に次の2点からです。

- 1 対読者戦略論として  
理論といっても題名、人名の効果や、語り手の設定、出来事の再現性など、情報伝達のもつ戦略性に主たる焦点を当てています。今後はこの視点から文学テクストを読者と作者の戦略的なコミュニケーションの場として、その方法論を研究して行くつもりです。
- 2 対言語戦略論として  
言語機能の前衛を目指す現代詩の方法について、文字、視覚、音楽、イメージ、コノテーションなどに視座をおいて、言語戦略論として追究していきたいと思っています。

## ◆メッセージ

私は、ここ数年は現代詩大事典の編集に関わってきました。高校の国語教科書の編集にも長く携わってきました。また、角川文庫の宮沢賢治の童話集の注釈などでも皆さんと関わりをもってきました。

大学の授業では、文学を理論で読む方法から、これまで皆さんが読んできた文学作品を分析します。私の一番の自慢の授業は「文学理論」です。ここでは題名や登場人物の名前のもつ効果から入りますし、比喩や象徴のもつ想像力拡大機能や、語り手や設定、過去の再現の仕方など、情報コントロールという観点から、文学作品を分析します。文学作品も、コマーシャルや政治的パフォーマンス、マーケティングと大きな違いはない、ということに皆さんは気がつくでしょう。

詩の授業では、言語の持つ究極の前衛機能について学びます。詩は実は視覚芸術だったり音楽だったりするのです。また宮沢賢治の授業では、仏教やキリスト教、天文学、地質学、植物学、民俗学などを縦横に織り交ぜて、ありとあらゆる世界認識にふれることを目指しています。